

【地区の魅力】

周囲を小高い山々と吉井川に囲まれたまとまりのある領域が形成されている。
 地区中央部では、緑豊かな砂川や農業景観と伝統的な農家集落とが落ち着いた農村の景観を形成している。
 竹原にある県立青少年農林文化センターは、市民の農村交流や自然体験の活動拠点となっている。
 地区内には国指定の大廻小廻山城跡や、社寺などの歴史的資源を持つ小さな丘陵地が多数点在しており、それらの斜面緑地が特徴的な風景を構成している。
 地区西側の山陽本線上道駅付近には、計画的に開発された大規模住宅団地の一群があり、良好な住環境の住宅市街地が形成されている。

【地区の課題】

農地では、まとまりのある農業景観を保全していく必要がある。
 まとまった領域を創り出している周囲の山々や緑豊かな古墳・城跡等の歴史的資源は、地区の風景を構成する重要な要素となっており、維持・保全していくことが必要である。
 幹線道路沿いの市街地では、良好な沿道景観の形成が必要である。

【景観づくりの目標】

地区中央部のまとまりある田園景観を保全し、古代より様々な歴史の舞台になった丘陵地を地区の特徴的な景観資源として、また良好な緑地として守り活かしながら、自然味豊かな景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



地域のシンボルの大廻・小廻山



濃い緑が水面に映える砂川



芥子山と一体をなす広い田園景観



環境整備されたため池



旧街道沿いの街並み



県立青少年農林文化センター

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 農業景観を保全する	農地を適切に維持し、営農環境を守る。 農地の宅地化を適切に誘導する。
2. まちの周囲を囲む緑の景観を保全する	市街地の背景となる斜面緑地を守る。 小さな丘陵地の緑地景観を守る。
3. 国道250号及び県道西大寺山陽線の沿道景観を修景する	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。 緑豊かな沿道景観を形成する。
4. 良好な住宅地景観を形成する	旧山陽道沿いなどの伝統的農家集落の景観保全を行う。
	緑豊かなゆとりのある住宅地を形成する。
	地形になじんだ住宅地を形成する。 東岡山レークタウンなどの住宅市街地の良好な景観を守る。

図 景観づくりの方針

